

2018
4

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣特命担当大臣賞)
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

よくみせて ちいさなきみの おおきなて



小田原城

(小田原市 城内)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(平成30年3月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成30年		6,495	37	7,665
平成29年		6,627	33	7,846
増減数		-132	+4	-181
増減率		-2.0	+12.1	-2.3

	総数	男	女
県人口	9,157,211	4,567,477	4,589,734
免許人口	5,621,672	3,222,365	2,399,307
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年3月1日、免許人口は平成30年2月末現在)

「平成30年度神奈川県交通安全協会事業計画」の概要

〔趣 旨〕

公益財団法人神奈川県交通安全協会は、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を図るため、県内の交通事故情勢等を踏まえ、県や県警察の指導をいただき、関係機関・団体と協力しながら、地区交通安全協会と連携を密にして重点課題に取り組み、交通安全活動事業を積極的に推進します。

〔重 点〕

- (1) 子どもと高齢者の交通事故防止
- (2) 自転車の交通事故防止と安全利用の促進
- (3) 二輪車の交通事故防止
- (4) 飲酒運転等悪質運転・危険運転の根絶



〔年 間 運 動 等〕

	行 事	予 定 日	場 所
1	春の全国交通安全運動	4月6日(金)～15日(日)	全国各地
2	交通事故死ゼロを目指す日・シートベルトの日	4月10日(火)	全国各地
3	自転車マナーアップ運動	5月1日(火)～31日(木)	全国各地
4	自転車交通安全の日	5月5日(土)	全国各地
5	第49回二輪車安全運転神奈川県大会	5月26日(土)	運転免許センター
6	二輪車交通事故防止運動・暴走族追放運動	6月1日(金)～30日(土)	県内各地
7	地区事務長会議	6月26日(火)	県協会会館
8	第49回交通安全こども自転車神奈川県大会 第7回交通安全高齢者自転車神奈川県大会	7月7日(土)	横浜文化体育館
9	夏の交通事故防止運動	7月11日(水)～20日(金)	県内各地
10	第53回交通安全子供自転車全国大会	8月8日(水)	東京ビッグサイト
11	バイクの日	8月19日(日)	全国各地
12	地区会長会議	9月13日(木)	県協会会館
13	秋の全国交通安全運動	9月21日(金)～30日(日)	全国各地
14	交通事故死ゼロを目指す日	9月30日(日)	全国各地
15	二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査	10月13日(土)	運転免許センター
16	飲酒運転根絶大会	11月上旬	未定
17	自転車安全教育指導員研修会	11月9日(金)	辻堂交通公園
18	自転車安全教育・二輪車安全運転推進委員会	11月22日(木)	県協会会館
19	交通安全功労者表彰式	11月26日(月)	県立音楽堂
20	飲酒運転根絶運動	12月1日(土)～31日(月)	県内各地
21	年末の交通事故防止運動	12月11日(火)～20日(木)	県内各地
22	交通指導員連絡会議	平成31年2月上旬	県協会会館

平成30年度 自転車マナーアップ運動

1 趣 旨

自転車の関係する交通事故が多発していることから、自転車の交通事故防止、特に自転車利用者の交通安全意識の高揚による交通ルールの遵守とマナーアップの向上を図るため、県民運動として家庭・学校・職場・地域で展開します。

特に九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）では、自転車の安全利用を促進する実効性のある共同の取り組みとして、5月中を

『**九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間**』として、各種啓発活動等に取り組みます。

2 期 間

平成30年5月1日（火）～5月31日（木）の1か月

3 スローガン

自転車も のれば車の なかまわり

4 重 点

- (1) 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上
- (2) 自転車点検整備と損害賠償保険加入の促進



春の全国交通安全運動出発式

神奈川県警察では、春の全国交通安全運動前日の4月5日、県知事や県公安委員長、交通関連団体の代表者等を来賓に招いて、警察本部長以下交通部幹部、第一及び第二交通機動隊、高速道路交通警察隊の白バイとパトカー隊員が赤レンガ倉庫前広場に集合して「春の全国交通安全運動出発式」を開催しました。

出発式では、隊員の服装点検、車両点検を実施した後、警察本部長が運動の基本でもある「子どもと高齢者の交通事故防止」について県民の皆様には交通安全を呼びかけるとともに、警察部隊に対し、「県民を交通事故から守るという強い使命感を持って、積極的に街頭活動に臨んでほしい」と訓示、続いて県知事、県公安委員長の激励の挨拶を受け、集結部隊は、4月6日から4月15日までの春の全国交通安全運動を周知するため、指揮官車（パトカー）を先頭に白バイ42台とパトカー10台が次々と街頭に出発しました。

県協会では、本運動に合わせて新入学児童に「交通安全ABC」「交通安全ルール・九九表」クリアファイルを、4月10日の「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせてポケットティッシュを配布して、新入学児童等の交通安全を呼びかけています。



第23回理事会・平成29年度優良職員表彰式

3月2日(木)午後、県協会会館において第23回理事会が開催されました。

会議は、石坂会長が議長を務め、平成30年度の県交通安全協会事業計画案、予算案、地区協会に対する助成金配分案等について審議し、議決されました。

その後、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況、平成30年度の県交通安全県民運動事業計画、春の全国交通安全運動、二輪車及び自転車の県大会等について報告されました。

また同日午前、長年にわたり交通安全協会の業務に精励し、効率的な業務運営に貢献した優良職員の表彰式が行われ、会長から表彰状と記念品が授与されました。受賞者は次のとおりです。



～ 受賞おめでとうございます～ (敬称略)

- ◎ 30年勤続表彰(1名)長谷川由美子(茅ヶ崎地区)
- ◎ 7年勤続表彰(8名)
一ノ瀬里恵子(県安協)、久田隆一(鶴見)、
佐伯三由紀(青葉)、鍋島英暉(幸)、
本多正美、山本かおり(藤沢市)、川村泰代(浦賀)、
田村文治(大船)



《平成30年 第1回グッドライダーミーティング》

3月10日(土)、神奈川県警察運転免許試験場において県警白バイ隊員や二輪車特別指導員を指導者として、初心者をはじめリターンライダーや、通勤・通学など日常的にオートバイを運転している方々46名が参加して本年度最初のグッドライダーミーティングが開催されました。

参加者は、乗車姿勢や点検要領等についてブレーキング、パイロンスラローム等を行い、自己の技量を把握するとともに、運転上の癖などの指導を受け、安全運転を再確認しました。



《交通指導員連絡会議における意見発表》

先般開催しました交通指導員連絡会議において、「交通安全活動への取り組み」等について加賀町、(一財)中原、海老名の各地区交通安全協会交通指導員から意見発表がありましたので、発表順にその要旨をご紹介します。

【加賀町交通安全協会：西條敏一交通指導員】

加賀町交通安全協会の交通指導員は現在14名で、毎月15日に町内会館で定例会を開いて、協会からの連絡事項、各委員からの意見や情報交換を行っています。

私は交通安全街頭指導で、歩行者信号が青の時は棒を水平にして左折車に止まれを指示していましたが、無視して強引に進もうとする車両も多々あり、ここ数年は、左折車止まれの合図の他にドライバーとアイコンタクトをとりながら片方の手を大きく開いて「じゃんけんのパーサイン」を送ったり、笛を吹いてドライバーに注意を促しております。

歩行者に対しては、歩行者信号が点滅したら横断ストップをかけます。きちんと止まる人、無視して渡る人、人それぞれで歩行者自身の自覚に任せるしかありません。

未就学児と母親が渡ろうとしたとき信号が点滅しました。この時二人がとった行動は？・・・そうです、母親は子供の手を引いて渡ろうとすると、子どもが「渡ってはダメ」という仕草をして結局渡らなかったという事です。改めてこちらに渡ってきたとき母親は照れくさそうにして頭を下げて行きました。子どもの心は純粹でいいですね。

私は保護司もしているので、観察対象の少年に、無意識に犯しているのが道交法違反で、事故さえ起こさなければ安全な運転とは言えない、交通ルールを守り相手を思いやることが大事だといつも指導しています。

交通指導員の定年延長の話には賛成です。今後は高齢者でも指導員への道を開くべきだと思います



【(一財) 中原交通安全協会：朝比奈義和交通指導員】

中原交通安全協会には、男性16名、女性3名の19名の交通指導員がおり、毎月1日と15日、各季の交通安全運動日に地元小学校の通学路で街頭活動を行っています。皆さん違う地域に住んでおり、朝の街頭活動はそれぞれの自主性に任されるところも大きいのですが、警察署のパトカーや安全協会の広報車が地域を回っていますので、それを励みに頑張っています。やはりパトカーや安全協会の広報車から「ご苦労様です」「おはようございます」と声をかけてもらえるのは嬉しいものです。地元での活動を何年も行っていると、小学生の子供達から挨拶してくれたり、お礼の手紙をもらったりと、暑さ寒さも吹っ飛ばような良いこともあります。

高齢者交通安全教室を「いこいの家」や「町会の会館」で開催したり、区内に3か所あるゾーン30の地域での広報活動などは、地域ごとに分担して活動を行うことが増えてきていますが、安全協会の事務局がキャンペーン場所等に交通指導員が偏らないよう公平に声をかけてくれます。10月から3月までは18時から夜間活動を行い、無灯火の自転車に自転車マナーアップを呼びかけています。

また、県の高齢者自転車大会に昨年参加して、2位の成績となり選手と応援団は大いに盛り上がり嬉しい思いをしました。

これからも全員が力を合わせて活動していきたいと思っています



【海老名交通安全協会：岡部利夫交通指導員】

海老名交通安全協会交通指導員の活動は、春と秋の全国交通安全運動、夏と年末の交通安全活動をメインとして、各交通安全キャンペーンでは、海老名駅前や中央公園を中心に、警察、市交対協、交通安全協会の他に、海老名市内の3つの高校である、海老名高校、有馬高校、中央農校からも協力していただいて、多くの生徒が参加してダンスや合唱を披露しながら、海老名駅の乗降客や買い物客などを集めて、通行中の人たちに、交通安全を呼びかけています。

また、一部の生徒は一日警察官の委託を受けて、新入学児童の交通安全や市のキャラクター「えびーにゃ」の反射材を活用した高齢者交通事故防止のほか、同世代の若者には、スマートホンや携帯電話を操作しながらの自転車使用禁止、自転車二人乗り禁止などについて、大きな声で「自転車利用マナーアップ」を呼びかけています。

毎年、年末には、特に飲酒運転根絶に重点を置いて市内の各飲食店を訪問して、ハンドルキーパー運動を推進するほか、夜間には主要交差点に交通指導員が立って交通誘導するなどの安全活動をしています。年2回「交通指導員だより」を発行しているほか、指導員の各地区での活動内容を新聞に提供して記事にしてもらっています。



交通事故の悲劇に学ぶ ⑤7

●「明日は我が身」 会社員:23歳

「明日は我が身」という言葉があります。

他人事のように思っていた「交通犯罪」を私が犯してしまうとは、想像もしていませんでした。その日を境に、私は「犯罪者」となりました。

平成27年のある日、私は社会人3年目を迎え順調な日々を送っていました。その日は土曜日だったこともあって、仕事が終わった後、車関係の友人と、車で峠越えに行く約束をしていました。午後9時に仕事が終わる明日も仕事がある為、急いで友人に連絡を取りました。先に1人の友人を迎えに行き、助手席に乗せ、他の友人は、現地に直接集合する事になりました。現地に到着すると、週末という事もあって、駐車場を埋め尽くす程の車やバイクが集まっていました。私は、その場の雰囲気、気持ちがいっぱいになりました。

時刻は午後11時を回っていました。そろそろ道路の状況を見に行こうと思い、友人の車と2台で駐車場を出ました。1回目の行きは友人が前を、帰りは私が前を走りました。

1回目の走行を終え、駐車場に戻ると助手席に乗っていた友人が「怖いから降りる」と言いました。その時の私は「大して速度出してないのに」と思いました。今思えば、その時に気づいていれば良かったと後悔しています。

2回目は、1人で駐車場を出て峠越えをしました。その後、再び駐車場に戻り、今度は友人と3回目の走行に出ました。

その時の私は、気分も最高潮に達し、感情コントロールが出来ない状態でした。そしてその帰り道に事件を起こしたのです。前を走行していた私は、法定速度40キロのところを後にいる友人の車よりも速く走りたいという気持ちが先立って、時速100キロ以上の速度で走行していました。

午前0時2分。私の車はカーブを曲がりきれず、対向車線に飛び出し、対向車線を走行していたバイクと衝突しました。一瞬何が起こったのか分からず、パニックになりました。数秒後、我に返り、事の重大さに気づき、車の外に出ると、男性が倒れていたのです。私は、被害者の方の意識がある事を確認し、すぐに救急車を呼びました。救急車が到着するまでの間、無我夢中で被害者の方に声を掛け続けました。先に警察が到着し、その場で私は現行犯逮捕されました。

翌日、取調室で男性が亡くなった事を知りました。私の頭の中は真っ白になり、私は「人殺をしてしまったんだ」と自分を責め、涙が止まりませんでした。取り返しのつかない事をしてしまい、これから先どう生きていけば良いのか、仕事はどうなるのかなど、色々な事を想像しました。留置場の中では、もっと早く気づければと、悔しくて涙が止まりませんでした。

お通夜と告別式には、私の代わりに、両親と親戚が参列しました。私は、10日後に保釈され、両親と親戚とともに被害者ご遺族の方の自宅に謝罪に伺いました。お線香をあげさせていただいた後、被害者ご遺族の方から、事件の状況を教えて欲しいと



言われ、全てお話ししました。説明の後、被害者ご遺族の方に「何でそんなスピード出して走ってんだよ」、「息子を返してくれよ」と厳しいお叱りの言葉を受けました。また、被害者の方は学生で、自動車整備士を目指していた事を知りました。私自身が自動車整備士だったこともあって、その事が許せないと言われました。

私は、その言葉を聴かされた時、その通りだと思いました。仕事として車を扱う以上は、普通の人より運転に対しての意識を高く持たなくてはならなかったと言われて初めて気づきました。私は被害者ご遺族の方の怒りと悲しみに満ちたお言葉に対し、ただただ、頭を下げて謝罪の言葉を言う事しかできませんでした。また、私の両親と親戚と一緒に謝罪している光景を見た時の私の胸中は、両親に対して申し訳ない気持ちとともに、親戚に対しても遠いところから私の為に謝罪して頂いていることが申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。私の犯した本件事犯により両親を始め、多くの方を悲しませてしまった事、また、失望させてしまった事を後悔してもしきれません。これが、運転に対する甘い考えと慣れによる過信の結果だと思います。

裁判で禁錮1年10月の実刑判決を受け、現在、市原刑務所で反省と償いの日々を送っております。

「交通犯罪」それは、ハンドルを握る誰しも陥る可能性のある「犯罪」です。車が走っている以上、被害者にも加害者にもなる可能性があるのです。そんな、悲惨な交通犯罪によって、その被害者の命を奪ってしまったとしたら一生後悔する事になるのです。また、残されたご遺族と自分の周りにいる多くの人に、一生消える事のない深い傷と悲しみを与えてしまう事をハンドルを握る全ての方にお伝えしたいと私は思っております。

起こしてからでは遅いです。「明日は我が身」だという事を、今一度考えて運転して欲しいです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第52集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)ツクイ _____ 横浜市港南区上大岡
- (株)サントーコー _____ 横浜市神奈川区鶴屋町
- 文一堂印刷(株) _____ 横浜市南区高根町

この人

147



戸塚交通安全協会
会長
川邊 重男さん
かわべ しげお



戸塚交通安全協会は、昭和23年に発足し、今年で70年になります。

地域における交通安全思想の普及と交通安全の推進と交通事故防止を図ることを目的として当協会が設立されました。

戸塚区は、現在27万人都市で区の面積は市内18区の中で一番の広さであり、自動車等の交通量も増加しつつあります。

さて今回は、平成29年9月から会長に就任された川邊 重男さんを紹介します。

会長は、生まれ(川邊家20代目)も育ちも戸塚区原宿で、庭には樹齢420年のタブノキ(市名木古木指定・幹回り約4m、高さ約13m)があります。近くにおいでの際には是非お立ち寄り下さいとのことです。職業は、都内の大学を卒業し、市内の会社に勤務後、平成12年不動産管理の会社『(有)なかい』を設立し経営しております。以前父親が当協会の副会長をしていたことから平成10年に入会し、平成20年に協会理事、その後に副会長兼交通指導部長などを歴任され、昨年の9月に会長に推薦され現在に至っております。

「交通事故は人災であり防ぐ事が出来る」

という強い信念を持って、諸先輩方が70年間築いてきた足跡を継承し、協会員(170名)一丸となり、関係機関・団体とも連携を図って、区内の死亡事故0を目指して積極的に交通安全活動に取り組む決意であります。また、当協会の合言葉である「鉄は熱いうちに打て」「錆は磨けば光る」の気持ちで幼稚園・小学生の交通安全教室や高齢者の交通安全教育にも取り組んで行きたいと話しております。生き甲斐は、地元のボランティア活動に取り組むことで、地域の子どもの安全安心を守る学童保育のために、敷地内に自ら計画した保育所(小雀つくしんぼクラブ)を建設して市に提供し、地域住民から感謝されております。

会長は、ボウリングが好きで高校時代から続けており、今も月に4回位通っており、大会にも参加し地域の情報収集はもとより仲間との交流を図っているとのことです。これからも健康に留意し、区民の安全・安心な生活を守るために頑張っていきたいと願っております。

(取材協力：戸塚交通安全協会)

こんにちは
「藤沢市交通安全協会」です

藤沢市交通安全協会に所属している交通指導員の活動について紹介します。

交通指導員の活動目標は、交通安全と交通事故防止です。

特に、交通弱者と言われる高齢者や子供の交通事故は、重大な結果を招いてしまう事案が多く、そんな悲惨な交通事故を抑止する活動にボランティアの精神と子供達の安全を見守る優しい心を持って、日々活動している方々が当協会に所属している交通指導員なのです。

交通指導員の主な活動実態を紹介します

○ 警察官が対応できない、大規模・中規模等の祭礼行事(神輿や山車)の交通誘導を真夏の過酷な炎天下での活

動を実施しています

○ 正月恒例の箱根大学駅伝の他、藤沢市民マラソン・湘南国際マラソン等の競技大会に出動し、休息や交代要員がない中で4時間近く連続での活動もあります。

○ 10月に行われる「ふじさわ江の島火火大会」では、短時間に大勢の観衆が押し寄せる会場での交通誘導、混雑がピーク時になった中での雑踏整理にも従事しています。

その他、交通安全日や各季の交通安全運動期間中の街頭監視活動、各種交通安全キャンペーンへの参加もあります。

また、自転車マナーアップ活動の一環として、小学生を対象に行う自転車安全教室への参加は、夏休み前の炎天下で行われる活動で、各交通指導員も体力の限界を感じるような活動が続きます。



このような厳しい活動環境の中で、25年以上も交通指導員の活動を続けている方もおります。この方も含めて、交通指導員全員が交通安全を願う熱い思いと、奉仕の強い信念を胸に、今日も藤沢市民の安全を見守る活動を行っています。

今後も、悲惨な交通事故を減らすために活動を続けていきたいと思っております。

(本多 記)

地区交通安全協会の活動紹介



川崎 交通事故防止総合対策活動の出発式



宮前 菅生地区での高齢者事故防止キャンペーン



大和 高座渋谷駅前での高齢者事故防止キャンペーン



平塚 市教育長に「交通安全ファイル」贈呈式



川崎臨港 桜本地区での交通安全教室



南 交通事故防止総合対策キャンペーン



保土ヶ谷 環状2号線での交通事故防止キャンペーン



相模原 小山地区での反射材着用キャンペーン



海老名 中新田小学校へ「交通安全ファイル」を贈呈



藤沢北 湘南台駅前での飲酒運転根絶キャンペーン

交通安全活動

インフォメーション

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ● 九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間 | 5月 中 |
| ● 関東交通安全協会連合会表彰式 | 5月18日(金) 浦和ロイヤルパインズホテル |
| ● 二輪車安全運転講習 | 5月19日(土) 運転免許センター |
| ● 第24回理事会 | 5月24日(木) 県安協会館 |
| ● 二輪車安全運転神奈川県大会 | 5月26日(土) 運転免許センター |